

プリモホールゆとろぎ開館20周年特別記念事業

20th

感じる ゆとろぎ
つながる ゆとろぎ

羽村市

星野富弘

メモリアルコンサート

花の詩画家・星野富弘の心あたたまる詩画の朗読や、詩を美しいメロディーに乗せた楽曲を
〈西由起子〉&女声アンサンブル〈ミント・フレイバーズ〉が美しく歌い上げます。
お誘いあわせの上ぜひお越しください。

きんぎょをどうもいっせ
ない時
いっもうかんでくる
ことばがあった
神様が
いるんだ
もの
なんとかなるさ
そしていつも
なんとかあった



なんとかなるさ ©Tomihiko Hoshino 2014

2025 年

12月7日(日) 13:30 開場 14:00 開演
プリモホールゆとろぎ 大ホール

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘一丁目 11 番地 5 (JR 青梅線「羽村駅」から徒歩 8 分)

ゲスト | 西由起子 ミント・フレイバーズ 蓼沼 明子

全席指定席

一般 2,000 円 大学生・高校生 1,000 円 中学生以下 500 円 未就学児入場不可

※コンサートチケットで「羽村市 星野富弘花の詩画展」に入場することができます。

チケット販売開始：9月17日(水) 9:00～

インターネット販売

ゆとろぎインターネットチケットサービス(要会員登録)

右記、二次元コードからご購入いただけます。

※コンビニ発券の方は、発券したコンサートチケットをゆとろぎ窓口にて持参してください。「羽村市 星野富弘花の詩画展」入場券をお渡しします。



窓口販売

直接ゆとろぎ窓口へ(9:00～20:00)

主催：羽村市教育委員会

協力：富弘美術館を囲む会東京・神奈川支部

コンサート市公式サイト▶





心あたたまるひとときをご一緒に

指揮 & 朗読

西 由起子 (にし ゆきこ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了後ドイツに留学。国際モーツァルトコンクール女声部門第3位、日本音楽コンクール声楽部門第2位など入賞。星野富弘氏の詩による歌曲を同級生のなかにしあかね氏に委嘱・初演・CDリリースし、各地のコンサートのほか教会、富弘美術館、詩画展コンサートにも招かれ歌っている。フェリス学院大学、東京基督教大学講師。ミント・フレイバーズ指揮者。公式 HP <https://nishiyukiko.com>



女声 & 器楽アンサンブル

ミント・フレイバーズ

西由起子の声楽門下生・大学授業履修卒業生を中心としたアンサンブル・グループ。約20名の歌メンバーと数名のピアニスト・ヴァイオリニストが在籍。女声らしい柔らかで透明な響きで日本の作品から宗教曲まで幅広いレパートリー持つ。これまで関東を中心に様々なコンサートに招聘され、富弘美術館や詩画展における星野富弘の詩によるコンサートにも出演。公式ホームページ、Facebook、X (旧 Twitter) でも情報を公開中。

〈声楽メンバー〉神戸裕衣・子田佳里奈・佐藤貴子・島崎結衣・杉本 慈・世古有里奈
高橋真衣子・竹村友里・豊田有美・荷田直美・古家未希・渡邊絢香〈ピアノ〉黒江真己



ピアノ

蓼沼 明子 (たでぬま あきこ)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修士課程修了。'11年からソロリサイタルを10数回開催。他、様々な形で室内楽コンサートに多数出演。子ども向けのコンサートや被災地での復興支援コンサート、後進の指導にも携わっている。またピアノ以外にもオルガンやチェンバロなどの演奏を行う。「すすきだ音楽隊」「アルキュオンピアノトリオ」「おはなし音楽隊ピッコロ」メンバー。日野市在住。



演奏作品



「なんとかなるさ
(ヒメジョオン)」



冬の枝



日野草

星野富弘の詩による楽曲を、美しいソプラノと女声アンサンブルでお届けいたします。上記作品以外にも、ふるさとの四季を歌う楽曲や、クリスマスメドレーなども演奏予定です。

星野富弘 プロフィール



- | | |
|--------|--|
| 1946年 | 群馬県に生まれる。 |
| 1970年 | 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。 |
| 1972年 | 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。 |
| 1981年～ | 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。 |
| 1982年 | 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。 |
| 1991年 | 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。 |
| 1994年～ | ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。 |
| 2005年 | (新) 富弘美術館開館。 |
| 2021年 | 富弘美術館開館30周年。
富弘美術館の入館者数が700万人を超える。 |
| 2024年 | 逝去。
みどり市名誉市民(第一号)の称号を贈られる。 |

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。

主な著書

「新装版 愛、深き淵より。」「新編 風の旅」「風の詩」

「詩画とともに生きる」(Gakken)

「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」

「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」

「足で歩いた頃のこと」「ただ一つのものを持って」

「ひと枝の花に似て」(偕成社)

「山の向こうの美術館」(富弘美術館・偕成社)

「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの雫」

「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」(いのちのことば社)

アクセス

プリモホールゆとろぎ 大ホール

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘一丁目 11 番地 5

【電車】JR 青梅線「羽村駅」東口下車、徒歩 8 分

お問い合わせ

羽村市教育委員会生涯学習推進課 (プリモホールゆとろぎ内)

TEL 042-570-0707